

センターニュース Center News

私たちは、質の高い医療の実践を通して社会に貢献します。

発行者／帝京大学ちば総合医療センター 千葉県市原市姉崎3426-3 TEL.0436-62-1211(代表)
URL <http://www.med.teikyo-u.ac.jp/~chiba/>

Vol.140
2026年8月



撮影・薬剤部 滝口 貴晴

外来診療の手続きについて

■診療科目(23科目)

内科 循環器内科 脳神経内科 外科 整形外科 産婦人科 小児科 眼科 耳鼻咽喉科
皮膚科 泌尿器科 メンタルヘルス科 放射線科 脳神経外科 麻酔科 リハビリテーション科
心臓血管外科 形成外科 歯科口腔外科 消化器外科 病理診断科 消化器内科 救急科

■初診の方法(当センターに初めて受診される方)

本館1階、初診受付にて診療申込書をご記入のうえ、保険証(紹介状・各種公費負担受給者証をお持ちの方は一緒に)・身分証明書(写真付き)を添えてお申し出ください。

受付時間
平 日8:30~14:30 ※形成外科・歯科口腔外科・整形外科・脳神経内科 8:30~11:30
(休診:皮膚科 火曜日/形成外科 火・木曜日/整形外科 水曜日/脳神経外科 木曜日/歯科口腔外科 金曜日)
メンタルヘルス科 水曜日午後/脳神経内科 火曜日/眼科 木曜日
土曜日8:30~11:30 ※脳神経内科・歯科口腔外科・形成外科 8:30~10:30(形成外科は急を要する疾患のみ)
(休診:整形外科・皮膚科・眼科)

眼科 完全予約制／皮膚科 初診患者は完全予約制／整形外科の土曜診療は原則予約制

初診受診についてお知らせ
眼科では医師の減員に伴い初診患者さんにつきましては、他院より紹介状をお持ちの患者さんのみの受付とさせていただきます。
皮膚科は他院の医師より当センターの医師へ受診の確認をした患者さんのみとなります。
脳神経内科は診療開始時間が月・木・金10:00~/水11:00~/となります。
ご迷惑をおかけ致しますが、ご理解ご協力の程お願い申し上げます。

選定療養費についてのお知らせ
初診時選定療養費...7,700円(税込) 再診時選定療養費...3,300円(税込)
紹介状を持たずに当センターを初診で受診される 病状が安定し、当センターがかりつけ医への紹介を申し出ても、引き続き
場合に、保険診療分と別途ご負担いただく費用 当センターを受診希望される場合に、保険診療分と別途ご負担いただく費用

■再診の方法(2回目以降の診察の場合)

再来受付機にて受付後、マイナンバーを読み込み各々の診療科の受付に診察券と受付票をご提出ください。
再来受付機の受付は診察券が必要となりますので、必ずご持参ください。
受付時間については、予約制となっている科がありますので、受診されている科の受付でご確認ください。

■休診日 日曜日・祝日・年末年始(12月29日~1月3日)・創立記念日(6月29日)

交通経路ご案内

電車 ●JR内房線「姉ヶ崎駅」東口下車、駅前からバス停①番のりば「帝京大学総合医療センター(青葉台)」行きで約15分。

お車 ●東京方面から館山自動車道市原出口(大多喜・勝浦方面へ出て、国道297号バイパスを姉崎方面へ右折)から10分。
●木更津方面から、館山自動車道姉崎袖ヶ浦出口から約15分。

帝京大学ちば総合医療センター

市原市役所 市役所通り 至東京 至千葉・東京 五井駅 JR内房線 国道16号線 自動車教習所 至五井 至長浦 至鴨川 姉崎・袖ヶ浦I.C. 至木更津 GS ミニストップ ホンダ 信金 変電所 姉崎神社 博全社 ケンタッキー 信金 ガスト 病院行きバス停(東口バス乗場①番) 病院案内板 東海小学校 県立姉崎高校 主要地方道市原・茂原線 297号線バイパス 市原I.C. 三好川 館山自動車道 至鴨川

病院からのお知らせ



面会に関するお願い

2026年8月3日(月)より、面会制限を緩和いたします。
ご理解とご協力をお願いいたします。

面会時間

平 日	15:00～17:00
土曜日・休日	14:00～17:00

※最終受付時間は、16:30まで

面会できる方

- ご家族または病院に登録されたキーパーソンの方
- 発熱、咳、咽頭痛、下痢などの症状がない方

※乳幼児の同伴はご遠慮ください

面会の流れ

- ① インフォメーション(総合案内)で受付
- ② 入館許可証(名札)を受け取る
- ③ 病棟スタッフステーションへお声がけください

🕒 面会は30分以内でお願いいたします

院内への立ち入りの際は、マスクを着用し、手指の消毒を行っていただくようお願いいたします。なお、マスクは事前に準備のうえ来院してください。

帝京大学ちば総合医療センター 病院長



新入職員3カ月を過ぎて

当センターに4月に入職した職員の「今まで」とこれからをご紹介します。



医事課
鈴木 琴音

入職から三カ月を経て

入職して三カ月が過ぎ、日々多くのことを学びながら業務に取り組んでいます。覚えることが多く、戸惑う場面もありますが、周りの方々の丁寧なご指導のおかげで、一人でできることが少しずつ増えてきました。医療に関する知識もまだ十分ではありませんが、医療事務として自分にできることや役割を意識しながら、一つひとつの経験を大切に、成長していきたいと考えています。今後も学ぶ姿勢を忘れず、より一層精進してまいります。



医事課
川西 絢子

感謝と笑顔を大切に

入職してあっという間に3カ月が経ちました。先輩方に温かく教えていただきながら、毎日楽しくやりがいを持って働いています。少しずつできることが増えてきたので、これからは患者様と一緒に働く職員から「任せて安心」と思ってもらえる存在になりたいです。まだまだ未熟ですが、感謝の気持ちと笑顔を忘れず、患者様やご家族に寄り添える職員になれるよう努力してまいります。



薬剤部
鈴木 愛乃

1つ1つ着実に

新人薬剤師及び新社会人となってから約3ヶ月が経ちました。知らないことに溢れた新しい環境の中で不安や緊張を感じる場面も多々ありましたが、1つ1つ先輩方に御指導を頂きながら、出来ることが少しずつ増えてきたと感じています。大学で今まで勉強してきたことを基盤として実臨床での多様な知識や技術を学んでおり、毎日がとても充実しています。今後も患者さんの力になれる薬剤師を目指して日々精一杯業務に向き合っていこうと思います。



薬剤部
福来 美歩

一人前の薬剤師を目指して

4月に入職し、新しい環境や業務にも慣れてきました。まだ知識不足を実感する場面も多くありますが、先輩方に支えていただきながら日々多くのことを学んでいます。また、調剤業務や無菌調製業務など病院ならではの業務を経験する中で、知識や技術が身についてきたと実感できる瞬間が、私の励みになっています。病棟薬剤師業務研修においても多くのことを吸収し、患者さんに寄り添える薬剤師を目指して努力してまいります。



薬剤部
今川 直哉

3ヶ月経って

新しい環境にも慣れ、まだまだ至らない点も多い私ですが、先輩方の支えに助けられながら業務に臨んでいます。すべてのことを先輩方のようににはできませんが、今できることを考え、行動していきたいと思っています。そして、患者さんに「帝京で見てもらって良かった」と思ってもらえるよう努めていきたいです。初心を忘れることなく成長し、先輩方のような薬剤師になれるように頑張っていきます。



薬剤部
桑田 夏希

日々、前進

就職前に実習でお世話になった当院で薬剤師として働くことができ、大変嬉しく思っております。最初はわからないことも多くありましたが、先輩方のご指導のおかげで、できる業務が少しずつ増え、日々やりがいを感じております。今後は、他職種と連携を深めながら、薬剤師としての知識や技術を一層高めてまいります。



薬剤部
伊藤 汐音

憧れの先輩方を目指し、 一歩ずつ前進

緊張と期待の中でスタートした社会人生活も3カ月を迎えました。覚えることの連続で瞬間に過ぎていく日々ですが、どんな時も優しく丁寧に指導してくださる先輩方の存在が、私にとって大きな支えになっています。知識も経験もまだまだ未熟ではありますが、一日でも早く憧れの先輩方のような薬剤師になれるよう、これからも一つひとつの学びを大切にしながら、一歩ずつ前進できるよう、日々努力を重ねていきます。



医療情報
システム部
荒川 祐輔

入職から2か月を経て

5月に入職して2か月が経ちました。最初は緊張しておりましたが、少しずつ職場の雰囲気や業務にも慣れてきました。主な業務は、電子カルテや院内システム機器の管理、それに関わる問合せ対応などです。未経験の業務ということもあり、日々自分の知識不足を痛感しておりますが、上司の方々の丁寧なご指導もあり、少しずつ成長も感じています。今後も努力を忘れず、経験と知識を身に付け、一人前の職員になれるよう日々精進してまいります。



LEC病棟
林 竜太郎

看護の日

5月12日に行われた「看護の日」のイベントに当センターから参加した看護スタッフから感想を聞くことができましたのでご紹介します。

「大切な人」を守るために —看護の日イベント参加報告—

5月17日にユニモちはら台にて、千葉県看護協会主催の「看護の日イベント」に参加させていただきました。当日は千葉県のマスコットキャラクター「チーバくん」も駆けつけ、多くの市民の皆さまで会場は賑わいました。キッズ白衣体験・肌年齢測定・中高生の看護進路相談などのブースが設けられ、私はAED体験ブースを担当させていただきました。「普段教えてもらうこともないし…」「いざという時のために経験したい」という思いを持って参加してくださる方や、「将来、



看護師さんになりたい!」という小さな未来の看護師さんも積極的に参加してくださりました。参加者の方々には、傷病者の反応・脈の確認、大

きな声で応援を呼ぶ、心臓マッサージ・AEDを行うといった一連の流れを体験していただきました。突然の心停止の場合、1分経過するごとに救命率が7～10%低下すると言われており、1分1秒でも早い処置がとても重要になります。いざ!という時には人は中々動けません。このようなイベントを通じて、一人でも多くの方に救命処置を身近に感じていただき、「大切な人の命を守るきっかけ」となれば幸いです。今後も地域の皆さまに、看護の魅力や知識を発信していきたいと思っています。



千葉県看護協会 会長表彰を頂きました

今年度の千葉県看護協会会長表彰を頂きました。千葉県看護協会に長年所属し、看護業務や地域の保健活動に従事している看護師の功績を称えての表彰です。表彰状と共に「看護の日」キャラクターかんの描かれたマイボトルの記念品を頂きました。これまでの看護を振り返るとともに、これからも帝京大学ちば総合医療センターの看護師としておもしろいやさしさの看護を提供していきたいと思っています。



内科外来/患者支援センター
後藤 和佳子

2026年度 千葉県看護協会 会長表彰

後藤 和佳子	看護師長
佐藤 理絵	看護師長代行
柴原 彩	看護主任
小野高 結和	看護師
山田 恵美	看護師
礒部 夏代	看護師

シリーズ

部門紹介



地域医療連携部

地域医療連携部
伊藤 孝史

地域とともに築く安心と信頼の医療連携体制

帝京大学ちば総合医療センター
地域医療連携部では、地域の医療
機関や介護・福祉施設との連携を

大切にし、患者さんご家族が安心して医療を受け、住み慣れた地域でその人らしい生活を送ること

ができるよう、さまざまな支援を行っています。

地域医療連携室では、地域の医療機関からご紹介いただいた患者さんの診療予約受付や転院調整、受診報告・返書の発送などを担当し、地域の先生方と当センターをつなぐ窓口として、円滑な医療連携を支えています。また、医療連携セミナーの開催や地域医療支援病院運営委員会の運営などを通じ、地域医療の質の向上にも取り組んでいます。

医療なんでも相談センターでは、病气や入院に伴う家庭、学校、職場、経済面など、さまざまな不安や困りごとについて、医療ソーシャルワーカーがご相談をお受けしています。必要に応じて関係機関と連携し、患者さんが退院後も安心して地域や家庭で生活が続けられるよう支援しています。

患者支援センターでは、医師、看護師、薬剤師、医療ソーシャルワーカー、リハビリテーションスタッフ、事務職員などの多職種が連携し、入院前から退院後まで切れ目のない支援を提供しています。

2026年4月より、伊藤孝史（副院長補佐）が地域医療連携部長を拝命いたしました。地域の医療・介護・福祉機関との連携を二層深め、患者さんにより安心で質の高い医療を提供できるよう、職員一同努めてまいります。今後ともご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



腎臓内科
伊藤 孝史

9月1日は**防災の日**です。皆さんは災害の備えを行っていますか？ 最近では地震に関わらず台風・豪雨などの自然災害も多く、いつ起こるか分かりません。

そのため日頃からの備えが重要です。
日頃から防災用品の点検や確認を行いましょう。

ローリングストックとは？

ローリングストックとは日頃から使う食品を多めに買い置きし、古いものから消費、消費した分を購入することでする方法です。非常用食品だけではなく普段から使う食品も貯蔵することが重要です。災害時は炭水化物ばかりの食事になりがちです。たんぱく質やミネラル、ビタミンを取れるよう缶詰や野菜ジュース、乾物（乾燥わかめなど）、ドライフルーツなども便利な食材です。



ご存知ですか？ 最近の非常用食品

5年間保存できるパン

5年間保存可能かつそのまま食べることが可能なパンです。
プレーン以外にもチョコとメープル味があります。



握らずにできるおにぎり

5年保存可能なおにぎりです。
お湯（もしくは水）を入れて15分待つとごはんがおにぎりの形になっているのでそのまま食べられます。
味は鮭、わかめ、五目、昆布の4種類あります。



栄養部だより

担当 桐谷真奈



形成外科は、身体の表面に生じた組織の異常や変形、欠損、あるいは整容的な不満足に対して、あらゆる手法や特殊な技術を駆使し、機能のみならず形態的にもより正常に、より美しくすることによって、みなさまの生活の質「Quality of Life」の向上に貢献する専門分野です。
具体的に取り扱う疾患として皮膚・皮下の腫瘍、手術や外傷による組織損傷、形態的先天異常、眼瞼下垂など後天性の機能不全症など、多岐にわたります。
当科は、「創傷のプロフェッショナル」であることにこだわり、急性・慢性創傷の治療に強みを持っています。中でも糖尿病・虚血

教えてドクター

形成外科・准教授
小林 尚史

足のトラブルで
お困りの方



足病について

性の足病変に対する治療を多く行なっており、従来の方法のみならず選択し得る最先端の手法も積極的に取り入れています。

一般的な感覚では、疾患部位別にそれぞれ専門とする科が存在して、問題があれば担当科を受診すれば良いと考えます。ところが、足の病気についてはさまざまな原因が入り組んでいることから、実際に治療を行う担当科がわからない、といったことが生じます。

特に糖尿病性足病変や虚血肢などでは、その根本的原因が内科疾患であるにも関わらず、実際の症状はきず・潰瘍・壊死と内科から遠い表現型を持つため、スムーズな診療が行われないことがあります。あまり聞きなれない言葉である「足病」ですが、私たち形成外科はこの概念を強調することで、責任を持って治療の主導を行います。

当科では胼胝・巻き爪などといったありふれたトラブルから、原因がわからず治りにくいきず・潰瘍まで、あらゆる疾患のアセスメントを行い、適切な治療につなげます。

足のトラブルでお困りの際はお気軽に受診をお勧めいたします。

「病院への手紙」のお答え

ご意見

検査入院で病棟へ戻った際に、ベッドが硬すぎて腰が痛くなってしまいました。
動くことができない患者にとって硬すぎるベッドは苦痛となります。今後のためにも改善をお願いします。

お返事

ご迷惑をお掛けし申し訳ございませんでした。
場所によってはばつぎがあるかもしれませんが、確認をして改善できるよう努めてまいります。

ご意見

今回は初めての入院で、とても長い入院になりました。
看護師の方々には本当によくしていただき、お忙しいのに明るくテキパキと優しくしていただき、たいへん感謝しています。

お返事

貴重なご意見ありがとうございます。
今後も患者さんに寄り添った看護を目指して努めてまいります。

ご意見

面会時間が少し短いように感じました。
患者さんの体調にもよりますが遠方からお見舞いにいく方もいますので、30分くらいは考慮していただきたいと思います。

お返事

貴重なご意見ありがとうございます。
面会に関しましては制限を緩和し、予約不要で面会ができるよう運用を変更しました。

※いただいたご意見につきましては、原文を忠実に再現しつつ一部簡略化して掲載しております。

針刺し予防 キャンペーン

看護部・安全管理部・感染制御部



8月は「針刺し予防月間」です

8月30日は**針刺し予防の日**（8＝はり、3＝さし、0＝ゼロ）に合わせて、医療現場での針刺し事故をなくすため、全国で安全対策の取り組みが行われています。

当院でも8月を「針刺し予防月間」とし、針刺し防止ポスターの掲示、院内ラウンドによる安全確認など、職員一同で針刺し事故ゼロを目指した活動を行っています。

自宅で注射針を使用される患者さんへ

治療のため、ご自宅で注射針を使用される方もいらっしゃいます。**使用済みの注射針は、家庭ごみとして捨てるできません。**

使用済みの針は安全に持ち運ぶため、**瓶などの強度のある容器に入れて密閉して**病院へお持ちください。

患者さん・ご家族・医療スタッフの安全のためにご協力をお願いいたします。